



週間情報



No.0809

発行日 令和8年3月3日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 消防デジタルイラストを募集

全国消防長会

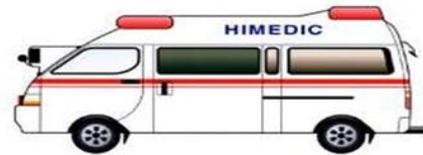
全国消防長会では、「消防デジタルイラストの募集について」（令和8年1月30日付全消発第207号）を发出了しました。

防火防災意識の普及・啓発、訓練、教材作成など幅広い消防広報に活用できる「消防デジタルイラスト集」を刷新（内容の変更と更新）するため、全国の消防職員からイラストを募集しています。

現場の視点を生かした、リアルで親しみやすいイラストを集め、全国の消防本部が消防業務全般で自由に活用できるよう、全国消防長会ホームページにて公開します。

すでに50点以上の素敵な作品をご提供いただいています。

ぜひ、あなたのイラストも全国の仲間と共有して下さい。



消防デジタルイラスト募集！

あなたのイラストが、全国の消防業務を支える力になります。

ぜひ、あなたのイラストを全国の仲間と共有してください。

あなたのデジタルイラストは、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練教材作成など、消防業務のさまざまな場面で活用されます。

ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部 〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国で紹介されます。

詳細は、[全国消防長会ホームページ](#)を検索！



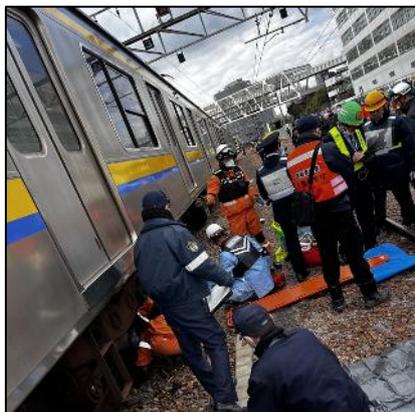
◆ 消防・警察・JR三者合同人身事故対応訓練を実施

千葉県消防長会

千葉県消防長会では、令和8年2月10日（火）、千葉市の東日本旅客鉄道株式会社千葉支社千葉駅構内電留線において、消防・警察・JR三者合同人身事故対応訓練を実施しました。

当日は、県内から13消防本部133人が参加し、各消防本部が保有する油圧ジャッキなどの救助資機材を活用した訓練を行い、資機材設定要領や救助要領を再確認するとともに、車両設備の活用方法などについて習得することができました。

また、人身事故に伴う救助活動時に潜む危険事項を再確認するとともに、消防・警察・JR間の連携を深めることができ、今後の迅速、安全な救助活動につながる大変有意義な訓練となりました。



【訓練の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 「はーとふるシート」寄贈式を実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、令和8年2月13日（金）、当市内中学校の生徒から、AEDを女性に使用する際に身体を覆うプライバシー保護シート「はーとふるシート」の寄贈を受けたことから、寄贈式を実施しました。

このシートは、同生徒が製作したもので、すでに製作経験のある県外の高校生からアドバイスを受けたものに、さらなる改良を加えた実用的なものとなっています。

当日は、同生徒の代表から、製作に至った経緯などについてお話しいただいたほか、同シートの活用方法を実演していただき、女性の救命率を向上させたいという熱い思いが伝わりました。

今後は、この取り組みを救命講習などの機会を活用して広報を行うとともに、市民の安全、安心に役立つよう普及啓発を図り、救命率の向上につなげてまいります。



【寄贈式後の記念撮影】



【はーとふるシート活用の様子】

訓練

◆ 関係機関と合同で林野火災訓練を実施

赤穂市消防本部（兵庫）

赤穂市消防本部では、令和8年2月3日（火）、市内の雄鷹台山において、岡山県の東備消防組合消防本部、兵庫県消防防災航空隊、赤穂市消防団、兵庫県警察本部赤穂警察署と合同で、林野火災訓練を実施しました。

この訓練は、隣接する県をまたぐ大規模林野火災に備えるため、関係機関との連携体制を構築することを目的として実施したものです。

当日は、各関係機関から計70人が参加し、長距離ホース延長要領、中継送水要領、航空機による物資投入および支援要領など、山岳地における実践的な訓練を実施しました。

全国的に林野火災の発生が懸念される中、訓練で得られた成果と課題を踏まえ、今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「令和7年度冬季山岳救助訓練」を実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和8年2月4日（水）、西蒲消防署管内の角田山において、「令和7年度冬季山岳救助訓練」を実施しました。

この訓練は、冬季間の山岳救助事案に備えるため、ヘリコプターが運航不能の状況下において、徒手による担架搬送訓練を実施し、安全かつ迅速な搬送技術の習得および部隊力の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「登山コースの3合目付近に自力歩行が困難な要救助者が1人いる。」との想定で、雪山での登山要領、長距離搬送方法、要救助者保温措置の検証を行い、冬季における山岳救助事案の対応力の向上につなげることができました。

今後も、各種災害を想定した訓練を継続し、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「令和7年度救急救命技術練成会」を実施

八尾市消防本部（大阪）

八尾市消防本部では、令和8年2月5日（木）、当消防本部研修場において、「令和7年度救急救命技術練成会」を実施しました。

この練成会は、救急隊員の救命技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、大阪府立中河内救命救急センター所長代行の岸本医師を評価者としてお招きし、救急隊4隊が4症例の半ブラインド型シミュレーション訓練を行い、同医師および指導救命士による採点を実施しました。

訓練終了後には、最優秀救急小隊に対する表彰式を行ったほか、同医師から訓練全体の講評をいただき、救急隊の活動に寄与する大変有意義な練成会となりました。

この練成会で習得した現場活動時における確実な知識と技能が、今後の救急活動に生かされるよう、さらなる救急救命技術の向上に努めてまいります。



【練成会の様子】



【表彰式後の記念撮影】

◆ 積雪期における山岳救助訓練を実施

高山市消防本部（岐阜）

高山市消防本部では、令和8年2月6日（金）、管内にある猪臥山において、積雪期における山岳救助訓練を実施しました。

この猪臥山は、高速道路のインターチェンジ近くに位置しており、アクセスが良く、関西や関東方面などの遠方からも登山者が訪れる人気の山です。

当日は、職員9人が参加し、「登山者が尾根の急斜面で滑落した。」との想定で、膝上まで雪が降り積もった斜面での歩行訓練を行ったほか、急斜面の下で助けを求めている要救助者の搬送用担架への収容から、引き揚げるまでの一連の流れを確認しました。

また、午後からは雪が緩んだことで、足場が安定しない状況での活動となり、経験の少ない職員にとっては、リアルな雪山救助を経験する貴重な機会となりました。

今後も、登山者の安全・安心を守るため、救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 大規模林野火災合同訓練を実施

伊勢市消防本部（三重）

伊勢市消防本部では、令和8年2月8日（日）、当県広域防災拠点（伊勢志摩拠点）において、大規模林野火災合同訓練を実施しました。

この訓練は、大規模な林野火災の発生に備えるため、本市と火災時における協定を結んでいる伊勢生コンクリート協同組合のほか、消防団、三重県防災航空隊、自衛隊明野駐屯地陸上自衛隊航空学校と連携し、広範囲の火災に対する迅速な消火活動能力の向上と消火体制の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、ドローンによる上空からの情報収集活動をはじめ、地上部隊による遠距離中継放水延焼阻止ラインの構築、自衛隊によるバケットを活用した空中消火、同協同組合によるコンクリートミキサー車を活用した消防用水の確保など、各機関が連携した実践的な活動を行いました。

今後も、連携訓練を継続し、さらなる防災力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ スノーモービルを活用した冬山連携訓練を実施

十日町地域消防本部（新潟）

十日町地域消防本部では、令和8年2月12日（木）、一般社団法人オフロードビークル協会と合同で、スノーモービルを活用した冬山連携訓練を実施しました。

この訓練は、同協会と締結した「災害時におけるオフロードビークルを活用した支援協力に関する協定」に基づき、冬山での救助活動能力の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「冬の山岳地で事故が発生した。」との想定で、スノーモービルを活用した捜索活動要領および全身固定器具（バックボード）を活用した要救助者の搬送要領を重点に訓練を行い、今後の課題を抽出することができ、非常に有意義な訓練となりました。

今後も、関係機関と連携し、災害対応力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 有毒物質特殊災害（CBRNE）対応訓練を実施

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和8年2月13日（金）、有毒物質特殊災害（CBRNE）対応訓練を実施しました。

この訓練は、指揮隊、救助隊、消防隊、救急隊の連携強化と災害対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「食品加工工場において、強い臭気があり、清掃中の従業員4人が気分不良を訴えて倒れている。」との想定で、事前に行った勉強会やDIG訓練の成果を発揮し、消防活動区域と進入統制ラインの設定、環境測定、ゾーニング、指揮隊による情報収集と活動統制を実施しました。

また、レベルA対応化学防護服装着隊による屋内進入と要救助者救出、レベルB対応化学防護服装着隊による要救助者の搬送、消防隊による除染活動、救急隊によるトリアージ、傷病者管理と搬送医療機関の調整を行い、CBRNE災害に関する知識・技術の向上を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 「消防長訓練査閲」を実施

富岡甘楽広域消防本部（群馬）

富岡甘楽広域消防本部では、令和8年2月16日（月）、「消防長訓練査閲」を実施しました。

当日は、指揮隊、救助隊、消防隊、救急隊、計10台の車両が参加し、「イベント会場で故意に薬物がまかれ、多数の体調不良者が発生した。」との想定で、BC災害と多数傷病者発生事案を組み合わせた大規模な訓練を行い、指揮隊の指揮統制の下、各隊が日頃から培ってきた技術を発揮する良い機会となりました。

当消防本部では、大災害に備えるため、さまざまな訓練を実施しており、今後も、住民の安全・安心のため、消防活動技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「常陸太田・常陸大宮・大子3市町消防本部合同救急救命活動訓練」を実施

常陸大宮市消防本部（茨城）

常陸大宮市消防本部では、令和8年2月17日（火）、常陸太田市消防本部および大子町消防本部と合同で、「常陸太田・常陸大宮・大子3市町消防本部合同救急救命活動訓練」を実施しました。

この訓練は、広域化を見据えて、職員の人事交流協定を締結している3市町の消防本部間のさらなる連携協力体制の構築、相互理解の促進、救急救命活動の技術向上を図ることを目的として実施したもので、昨年実施した山岳救助訓練に続いて2回目の合同訓練となります。

当日は、茨城県立中央病院救急科の医師を訓練評価者としてお招きし、「心筋梗塞によるCPA事案」を想定し、各消防本部ごとに訓練を行い、PA連携出場体制や救急隊・救急支援隊の活動要領、除細動器や自動心臓マッサージ器などの資器材の違いを共有することができ、有意義な訓練となりました。

今後も、3市町消防本部の連携をより一層強化し、住民の皆さまの安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 特殊災害対応訓練を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和8年2月18日（水）、市内の老人保健施設跡地において、特殊災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、NBC災害などの特殊災害に備えるため、隊員間の連携強化および関係機関との情報共有を図るとともに、活動要領を再確認することを目的として実施したものです。

当日は、「施設の2階浴室入口に、有毒ガス発生中との張り紙が貼られており、応答がない。」との想定で、広報活動、警戒区域の設定、要救助者の救出から除染活動までを行い、活動要領を再確認し、NBC災害に関する知識・技術を向上することができました。

今後も、各種災害に対応するため、実践的な訓練を継続し、消防力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 女性消防吏員の活躍推進研修を実施

橋本市消防本部（和歌山）

橋本市消防本部では、令和8年2月4日（水）、女性消防吏員の活躍推進研修を実施しました。当日は、豊橋市消防本部の原田氏をWeb講師としてお招きし、女性消防吏員のキャリア形成、現場での経験、組織づくりについて、実体験を交えながら分かりやすくご講義いただきました。

また、同講師と女性消防吏員のための座談会を行い、仕事と家庭の両立、現場で感じていること、将来の目標などについて意見交換を実施し、普段はなかなか話せない思いや悩みを共有することができ、有意義な研修となりました。

今後も、性別に関わらず一人一人が力を発揮できる職場づくりを推進し、市民の皆さまの安全・安心を守ってまいります。



【研修の様子】

◆ 「令和7年度救急隊員のための法律研修会」を開催

熊谷市消防本部（埼玉）

熊谷市消防本部では、令和8年2月6日（金）、「令和7年度救急隊員のための法律研修会」を開催しました。

この研修は、救急活動における法的根拠を理解するとともに、緊急性・必要性・相当性を踏まえた判断・行動できる力を養成することを目的として開催したものです。

当日は、法律の専門家を講師としてお招きし、「救急活動における法律相談」をテーマにご講義いただき、具体的事例を通じて、現場で求められる迅速な判断と法令遵守の両立について学ぶとともに、職務の重みを再認識することができ、有意義な機会となりました。

この研修会が、今後の救急活動における判断の一助となり、救急隊員、市民双方の安全確保につながることを期待します。



【研修会の様子】

◆ 「4. 27久慈大火研修会」を実施

久慈広域連合消防本部（岩手）

久慈広域連合消防本部では、令和8年2月10日（火）、全職員を対象とした「4. 27久慈大火研修会」を実施しました。

この研修は、昭和58年4月27日、久慈市に甚大な被害をもたらした「久慈大火」について、当時出動した職員が、すでに退職していることを踏まえ、記憶の風化を防ぐとともに、その教訓を継承することを目的として実施したものです。

当日は、元消防長で現在も防災活動に尽力されている久慈市防災士連絡協議会会長の三船氏を講師としてお招きし、発災当時、消防士として同火災に出動された貴重な経験をもとに、災害状況などについて写真を交えながらご講義いただき、大変有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

その他

◆ 消防資機材寄附者に感謝状を贈呈

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和8年2月4日（水）、一般市民（故人）から消防資機材「アイスバス」および「安全マット」の寄附を受け、消防長から感謝状を贈呈しました。

これは、故人が生前、「暑い中、現場活動や訓練をしている消防職員へ役立ててほしい。」と家族に話していたことから、寄附をいただいたものです。

今後は、これらの資機材を、災害現場での熱中症対策や訓練の安全管理対策として大切に活用し、市民の安全・安心につなげてまいります。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

岸和田市消防本部（大阪）

岸和田市消防本部では、令和8年2月9日（月）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和7年12月9日（火）、ガスふろがまが焼損した火災において、近隣で作業をしていた消防協力者の2人が協力して、迅速に119番通報をした後、手元にあった容器に水を入れ、交代しながら火元に水をかけて初期消火を行い、隣接する建物への延焼を阻止し、被害の拡大防止に貢献したものです。

消防協力者2人の功績をたたえ、感謝の意を表しました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

知多市消防本部（愛知）

知多市消防本部では、令和8年2月18日（水）、消防協力者の4人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和7年11月22日（土）、市内の屋内運動競技施設において、心肺停止になった50代男性に対して、現場に居合わせた消防協力者の4人が連携し、119番通報、胸骨圧迫、同施設に設置されたAEDを活用した除細動を行い、救急隊に引き継いだものです。

男性は、救急隊到着時には自己心拍が再開しており、病院での治療後、社会復帰しました。

消防協力者4人により、救命の連鎖である「早期認識と通報」および「一次救命処置」が見事につながり、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 駅前において関係機関と合同で広報活動を実施

我孫子市消防本部（千葉）

我孫子市消防本部では、令和8年2月12日（木）、JR布佐駅東口において、消防団、我孫子市役所、千葉県警察本部我孫子警察署、JR東日本株式会社、我孫子市防災協会、布佐商工会と合同で、広報活動を実施しました。

この広報活動は、令和7年12月下旬、近隣住民から「通行人がたばこをポイ捨てしているの、消防機関で何とかしてほしいです。」との相談を受けたことをきっかけに、関係機関に呼びかけて実施したものです。

当消防本部では、火災予防広報を行うに当たり、当駅の外国人利用者の増加状況を考慮し、日本語、ネパール語、シンハラ語を記載したリーフレットを作成しました。

当日は、各関係機関が一致団結し、駅を利用する約700人の方々に対して、火災予防、防犯、乗車マナーの呼びかけのほか、地域の安全な暮らしを守るための広報活動を実施しました。

今後も、広報活動を継続し、火災予防の普及啓発に努めてまいります。



【広報活動の様子】

◆ 火災予防パフォーマンス動画を制作

池田市消防本部（大阪）

池田市消防本部では、令和8年2月12日（木）、春季全国火災予防運動を迎えるに当たり、大阪府立池田高等学校書道部と共同で、火災予防パフォーマンス動画を制作し、公式インスタグラムで発信しました。

動画内では、同高等学校書道部と職員が、音楽に合わせて「春の火災予防運動」の文字を描く「書道パフォーマンス」を行いました。

動画内で制作した作品は、同年2月25日（水）から3月13日（金）までの間、池田市役所に展示します。

高校生の情熱的なパフォーマンスにより書き上げられた「春の火災予防運動」の文字が多くの方の目にとまり、防火意識の向上につながることを期待しています。



【動画のサムネイル】



【公式インスタグラムの二次元コード】

◆ 警察署員に対する救命講習を実施

若狭消防組合消防本部（福井）

若狭消防組合消防本部では、令和8年2月17日（火）、管内を管轄する福井県警察本部小浜警察署員を対象とした救命講習を実施しました。

この取り組みは、警察機関との連携強化を図ることを目的として実施したもので、去年は同警察署と合同で警防特別訓練を行いました。

当日は、同警察署の署長以下21人が参加し、救急現場で必要となる心肺蘇生法やAEDの取り扱い要領などの応急手当について、一つ一つの手技を確認しながら真剣に学んでいただき、救急事案発生時における迅速かつ的確な初動対応の重要性を再認識していただきました。

また、消防庁舎見学、消防車両見学、救急車積載資機材の展示も行い、消防業務に関する理解を深めていただきました。

今後も、関係機関との連携を一層深めるとともに、地域の安全・安心の確保と救命率の向上に努めてまいります。



【救命講習の様子】



【救命講習後の記念撮影（左から、山口消防長、山田警察署長）】

消防学校からの便り

◆ 「あおり女性消防吏員緊急消防援助隊訓練」を実施

青森県消防学校

青森県消防学校では、令和8年2月12日（木）、13日（金）の2日間、青森県内の女性消防吏員を対象とした、「あおり女性消防吏員緊急消防援助隊訓練」を実施しました。

この訓練は、主に後方支援活動能力の向上を図ることを目的として、初めて実施したものです。

両日は、県内消防本部から23人が参加し、1日目に、緊急消防援助隊の制度や部隊運用などに係る講義、支援車（I型）の操作訓練、エアータントや後方支援資機材などの取扱訓練を行った後、屋内訓練場で宿営訓練を実施しました。

また、2日目には図上訓練を実施し、2日間を通じて、非常に有意義な訓練となりました。

今後も、県内の消防本部と連携し、女性消防吏員の活躍に向けて積極的に取り組んでまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 全国瞬時警報システム全国一斉情報伝達試験の実施について

(閣副事態第94号、消防国第16号、消防運第13号、令和8年2月18日)

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付内閣参事官、消防庁国民保護・防災部防災課国民保護室長、国民保護運用室長から各都道府県国民保護担当部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

全国瞬時警報システム（以下「Jアラート」という。）全国一斉情報伝達試験（以下「一斉試験」という。）については、Jアラートによる情報伝達時の不具合の発生を抑制し、緊急時における住民への迅速かつ確実な情報伝達に資するよう、下記のとおり実施します。

貴都道府県におかれては、管内市区町村に対して、下記事項の内容を周知いただき、一斉試験の実施に際し、遺漏のなきようお願いします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/13eb2e84de5dcdf98d5f83520c5cd832747f214d.pdf>)

に掲載されています。

【連絡先】

消防庁国民保護・防災部 国民保護室・国民保護運用室

安西課長補佐、白井係長、辰巳、田中、石川、三浦

電話：03-5253-7550

電子メール：renraku-jalt@soumu.go.jp

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、Word で200～400文字程度、写真は、1～2枚を Word に貼り付けて送付してください。

（貼り付けできない場合は、JPEG 画像データを送付してください。）

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 吉田 TEL:03-4500-6622

原稿データは、weekly@fcj.gr.jp に送信願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・**トップ・セカンド記事** 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・**消防ワイド** 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度／写真:JPEG1枚

【問合せ】：企画課・中西 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事：kikakoho@fcj.gr.jp 消防ワイド：honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、[全国消防長会ホームページ](#)を検索!!!

